

がん検診啓発キャンペーン実施中

メインキャラクターとして「デーモン閣下」さんを用。様々なメディアで、がん検診受診の重要性を呼びかけている。



広島県がん検診啓発キャラクター「デーモン閣下」さん

アンケートをみると、半数近くの方が「がん検診の種類や方法についてよく知らない」という結果になりました。検診の基本的な情報が県民の皆さんへ十分に届いていないことが伺えます。この特集では、がん検診への理解を深め、受診するきっかけにしたいというよう、がん検診について詳しく紹介いたします。

『死因第1位は「がん」』
がんの年間死亡者数は全体の約3割、2人に1人ががんになり、3人に1人が「がん」で亡くなっています。

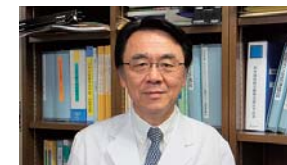
『早期発見・早期治療で完治』
早期がんを発見できる期間にはわずかに、定期的な検診で早く見つければ、がんはほぼ治ります。

『症状が出てからでは遅い』
早期がんは、ほとんどの場合、症状がありません。がん検診は自覚症状のないあなたが対象です。

県内全市町で実施!
健康な今だからこそ
「がん検診」で安心を

がん検診はがんを早期に発見する最も有効な方法。

がんは、発見が早期になるほど、その後の生存率は高まります。手遅れにならないためにも、がんの早期発見につながるがん検診の定期的な受診をおすすめします。



広島大学大学院 教授 (広島県がん対策推進協議会 がん検診推進部会長) 河野 修興さん

肺がん検診

胸部にエックス線を当てながら、1~2枚レントゲン撮影を行います。

対象 40歳以上の男女(年に1回)

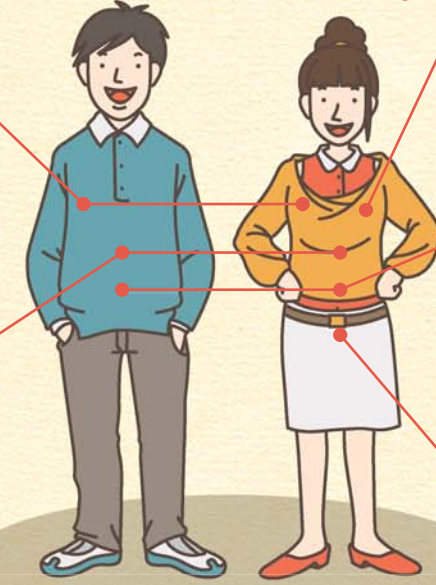
胃がん検診

エックス線を反射するバリウムを飲んでレントゲン撮影を行います。

対象 40歳以上の男女(年に1回)

※人間ドックなどでは、胃カメラ検査や肺CT検査で実施される場合もあります。

広島県がオススメする
がん検診は5種類です。



乳がん検診

乳房を数秒だけ圧迫しますが、少ない放射線で安全に乳がんが早期発見できる検診です。

対象 40歳以上の女性(2年に1回)

大腸がん検診

便に混ざった血液の有無を調べます。検査容器に便をとり提出するだけの簡単な検査です。

対象 40歳以上の男女(年に1回)

子宮がん検診

子宮頸部から細胞を採取し、顕微鏡で診断を行います。

対象 20歳以上の女性(2年に1回)

市町で受診できる「がん検診」についてのQ&A!

いつ受けられるの?

集団検診

決まった日時に、公民館や福祉センター等で受診することができます。

個別検診

希望の日時に、指定された医療機関で受診することができます。

気になる料金は?

検診料金は、一項目につき200~2,000円程度です。

上記料金は目安ですので、市町によってはこれらの範囲外となる場合があります。

さらに詳しく知るには?

がん情報サポートサイト「**広島がんネット**」各種がんの解説から広島県が取組むがん対策まで幅広い情報をご覧ください。

広島がんネット [検索](#)

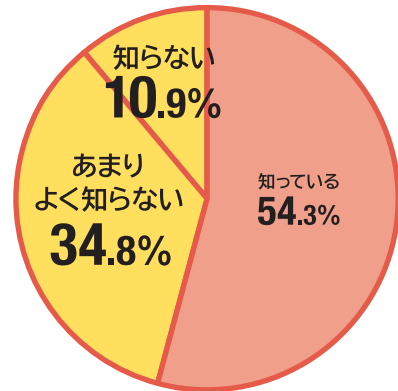
手遅れになる前に、「がん検診」で早く見つけて治すがよい!

持続可能な過疎地域の形成に向け、「未来創造支援事業」で若者の定着を。

アンケートの結果では何らかの過疎対策が必要と考えられている県民は9割にのぼり、県民全体の暮らしに関わる過疎地域の活力維持は必要という思いが伺えます。広島県の過疎地域は県土の約6割を占めますが、人口は県全体の約1割にすぎません。その過疎地域の人口は10年前と比べて約12%も減少しています。過疎の市町は産業が衰退し就労の場も減ることで、若者の転出、医療機関や商店街の撤退、公共交通の縮小など、暮らしを支える機能が低下する

厳しい状況にあります。広島県は過疎地域の根本的な問題解決のため、将来を担う人材の定着に向けて、就業機会の創出を柱とする「未来創造支援事業」を創設。産業対策を基本とした9市町の取組を支援して、魅力ある豊かな地域づくりを推進しています。昨年度から事業を始めた庄原市と世羅町では、特産品の開発・販売や就農希望者への実践研修など、就業につながる取組が順調に進んでおり、地域に新たな活力が生まれています。

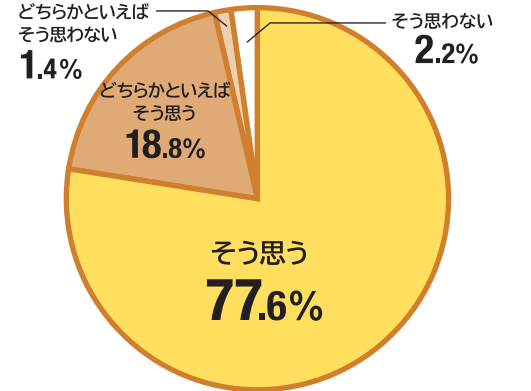
がん検診の種類や方法を
知っていますか?



平成24年8月実施 有効回答数 221

広島県民に聞きました。

過疎地域への
対策が必要だと
思いますか?



平成24年8月実施 有効回答数 223

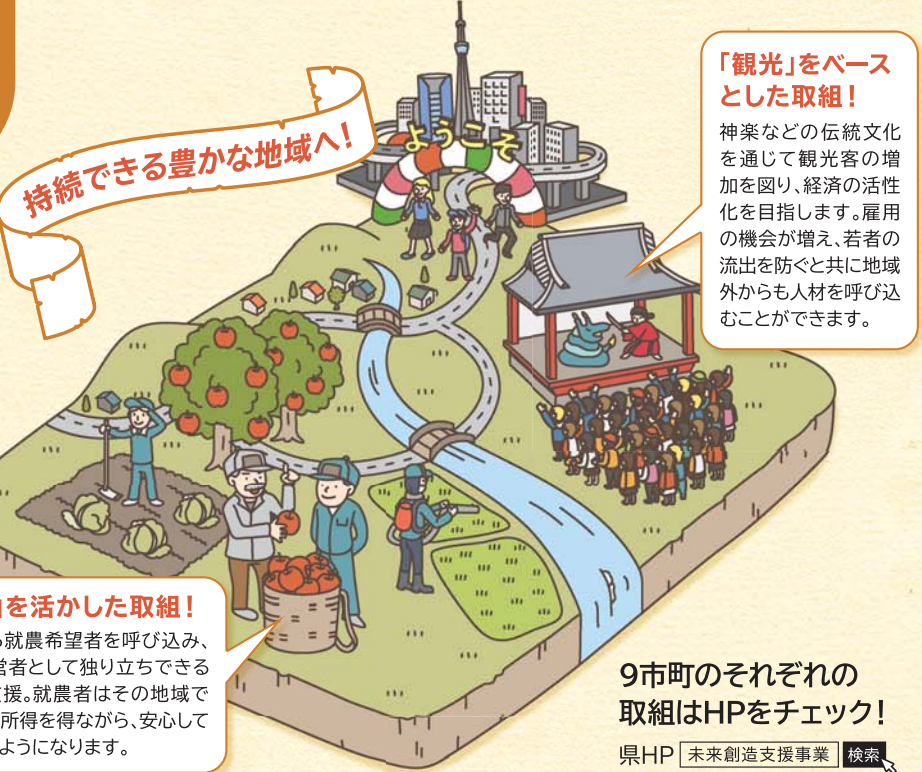
広島県がバックアップ!
“未来創造支援事業”で
活気ある地域づくりを

若い世代が挑戦できる
環境に感謝しています。

千葉県から家族で新規就農者を目指し広島県へ来ました。交付金や農業研修などの支援をいただき頑張っています。生活の基盤を固めながら、夢をかなえるやりがいを実感しています。



飯田 康央さん 飯田 直孝さん



状況に応じた様々な取組で地域振興を目指します!

1 地域の生活課題の解決

日常生活の課題を解決するために、自治会などの住民自治組織が行う新たな取組を、県は支援しています。
県HP [生活支援モデル事業](#) [検索](#)

2 生活交通の確保

地域の方の通勤・通学・通院・買物などの生活交通を守るため、幹線バスや離島航路・生活航路への補助や、廃止代替バスやデマンド交通を運行する市町へ支援しています。

3 広島県北部地域 移動診療車の運行

庄原赤十字病院、市立三次中央病院、神石高原町立病院では、移動診療車の運行を開始しました。医療機器を積んだ車輛が無医地区の患者居宅近くまで巡回します。

未来を担う人々が住み続けられる地域づくりを目指します。